



2026年4月22日

各位

会社名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 代表取締役社長執行役員グループC00 成瀬 功一郎
コード番号 3205 (東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役上席執行役員グループCF0 白子田 圭一
(TEL : 03-3257-5022)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月22日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえて2026年2月12日に開示した2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の業績予想を以下のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	32,270百万円	10百万円	△160百万円	1,110百万円	40円73銭
今回修正予想(B)	32,500百万円	300百万円	未定	未定	未定
増減額(B-A)	230百万円	290百万円	-	-	-
増減率(%)	+0.7	-	-	-	-
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	28,609百万円	△64百万円	△233百万円	△2,483百万円	△91円65銭

2. 修正の理由

売上高の増加につきましては、主にジャパンプルーにおいてMOMOTARO JEANSやJapan Blue Jeans等のデニム製品ブランドの売上高が前回予想比で約200百万円の増加となる見込みとなったことによるものです。

営業利益につきましては、ジャパンプルーの売上高の増加に加えて、ニューヨーカーにおいて販売費および一般管理費の抑制に努めたこと等により増加する見込みです。

以上のとおり、2026年3月期の営業利益は2025年5月13日に公表いたしました業績予想値である100百万円を上回る見込みであり、2024年5月20日に公表いたしました第1次中期経営計画の施策の効果が着実に創出し始めているものと考えております。

また、第1次中期経営計画の最終年度である2027年3月期につきましては、2026年3月期は半期分の取り込みであったジャパンプルーの利益が1年分取り込まれることに加えて、ブルックス ブラザーズやポンテトルト等の既存事業のさらなる成長を見込んでおり、営業利益目標である1,500百万円の達成に向けて、引き続きグループ全社を挙げて取り組んでまいります。

さらに、2026年2月27日に公表いたしました2029年3月期に至る第2次中期経営計画の達成に向けて、M&Aをはじめとした事業ポートフォリオの再構築および個別事業の構造改革等の各種施策を迅速に推進してまいります。

2026年3月期の経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、決算スケジュールの都合上、会計処理の確定に一定程度の期間を要することから今回の修正においては未定とさせていただきます。具体的な金額の合理的な算定が可能となりましたら速やかに開示いたします。なお、既に公表されている事柄を除いて当社連結業績に著しい影響を及ぼす事象は現時点において確認されておりません。

※本資料に記載されている業績予想および将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上